

# 特定外来生物の防除を行う皆様へ

環境省 北海道地方環境事務所 野生生物課

特定外来生物の防除に係る確認・認定を受ける際には、以下の書類を提出していただきます。

## ○様式9 特定外来生物の防除の確認又は認定申請書

以下添付書類

防除実施計画書（必須）

防除実施区域図（必須）

申請者の略歴を示した書類（民間団体・NPO・個人のみ）

登記事項証明書（民間団体・NPOのみ）

定款又は寄付行為（民間団体・NPOのみ）

過去3年間の活動実績を記載した書類（民間団体・NPO・個人のみ）

以下に、それぞれの書類を作成する際の留意事項について説明します。

## ○様式9 特定外来生物の防除の確認又は認定申請書

「申請書（様式9）の記載案」を参考にして作成して下さい。

また、以下のことに留意して様式9を作成して下さい。

### 1. 申請の種類

確認（法第18条第1項）／認定（第18条第2項）

確認⇒都道府県・市町村の地方公共団体が対象

認定⇒国及び地方公共団体以外の者（民間団体・NPO・個人）が対象

### 2. 防除の内容の概要

1) 特定外来生物の種類、2) 区域、3) 期間、4) 目標、5) 防除の方法について、各主体で行われる防除に即した内容を記載して下さい。

### 3. 添付図面等

防除実施計画書、防除実施区域図が必須となるほか、防除の認定を受ける民間団体・NPO・個人は上記の資料の他に、申請者の略歴を示した書類、登記事項証明書（法人のみ）、定款又は寄付行為（法人のみ）、過去3年間の活動実績を記載した書類等が必要になります。

## ○防除実施計画書

様式9の「2. 防除の内容の概要の内容」に記載した事項について、より詳しく記載していただくものです。

防除実施計画書については特に決まった様式はありませんが、「防除実施計画書作成の手引き」を参考に計画書を作成して下さい。

なお、手引きに添付してある計画書は北海道地方環境事務所で作成した参考例ですので、各主体で行われる防除に即して記載して下さい。

## ○防除実施区域図

防除を実施する区域を、縮尺が明確な地形図などに赤ペンで囲むなどしてわかりやすく図示して下さい。

# 防除の申請に必要なもの(確認申請の場合)

都道府県  
市町村

以下の書類が必要になります。①申請書(様式9)、②防除実施計画書(防除従事者証、防除従事者台帳を含む)、③縮尺が明確な防除実施区域図

(様式9)

特定外来生物の防除の  
確認又は認定申請書

①  
申請書  
(様式9)

②  
防除実施  
計画書

セイヨウオオマルハナバチの  
防除実施計画書

.....  
.....  
.....

防除従  
事者証

(別記) 防除従事者証

氏名	
住所	
区域	
方法	

防除従事  
者台帳

防除従事者台帳(別記)

氏名	住所	

防除実施区域図

4

縮尺 1:100,000  
(縮尺を記載)

③  
防除実施  
区域図  
(防除の範  
囲がわかる  
もの)

# 防除の申請に必要なもの(認定申請の場合)

民間団体  
NPO  
個人

以下の書類が必要になります。①申請書(様式9)、②防除実施計画書(防除従事者証、防除従事者台帳を含む)、③縮尺が明確な防除実施区域図、④申請者の略歴を示した書類(役員の氏名及び略歴を記載した書類)、⑤登記事項証明書、⑥定款または寄付行為、⑦過去3年間の活動実績を記載した書類

(様式9)

特定外来生物の防除の  
確認又は認定申請書

①  
申請書  
(様式9)

②  
防除実施  
計画書

セイヨウオオマルハナバチの  
防除実施計画書

.....

.....

.....

防除従  
事者証

(別記) 防除従事者証	
氏名	
住所	
区域	
方法	

防除従事  
者台帳

防除従事者台帳(別記)	
氏名	住所

防除実施区域図

4

縮尺 1:00,000  
(縮尺を記載)

③  
防除実施  
区域図  
(防除の範  
囲がわかる  
もの)

申請者の略歴

.....

.....

.....

④  
申請者の  
略歴を示  
した書類

登記事項証明書

.....

.....

.....

⑤  
登記事項  
証明書  
(法人のみ)

⑥  
定款又は  
寄付行為  
(法人のみ  
任意団体の場合は  
会則等を提出)

.....

.....

.....

.....

.....

⑦  
過去3年間  
の活動実績

特定外来生物の防除の確認又は認定申請書

特定外来生物の防除を行いますので、防除に係る(□確認/☑認定)を受けたく、特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律(平成16年法律第78号)(□第18条第1項/☑第18条第2項)の規定により、次のとおり申請します。

提出日

平成19年 4月 1日

北海道地方環境事務所長 殿

住所・氏名(法人・団体は代表者の職名・氏名)・電話番号、主たる事業(個人は職業)を記入。

地方公共団体は確認(18条1項)民間団体・NPOは認定(18条2項)をチェック

申請者の住所:〒100-0000 北海道札幌市〇〇4-11  
氏名: NPO法人環境 代表 環境 太郎  
電話番号: 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇  
主たる事業(職業): 生物に関する環境影響調査

印

押印(法人は法人印)

1. 申請の種類	□確認(法第18条第1項) / ☑認定(第18条第2項)		
新規にチェック	☑新規 / □申請内容変更		
2. 防除の内容の概要	1) 特定外来生物の種類	ボンブス・テルレストリス(セイヨウオオマルハナバチ) 生物名を正確に記入。略称などは不可	
	2) 区域	〇〇市内全域	
	3) 期間	平成19年5月1日 ~ 平成23年3月31日	
	4) 目標	野外からの完全排除、影響の低減化を長期的な目標に 生息域の拡大や侵入・定着を阻止	
	5) 防除の方法	捕虫網により捕獲し適切に処分する。 (詳細は別添「〇〇町セイヨウオオマルハナバチ防除実施計画」のとおり) (捕獲等をした特定外来生物の取扱い: □飼養等 / ☑殺処分)	
3. 添付図面等	☑区域図、☑防除実施計画書、☑定款又は寄付行為 ☑申請者の略歴を示した書類、☑過去3年間の活動実績を記載した書類 原則として殺処分を選択		
4. 備考	天然記念物〇〇地域において捕獲を行うため、文化庁に文化財保護法に基づく現状変更の許可申請中		
担当者連絡先(本申請に係る担当者情報を記載)	氏名	環境 太郎	所属・役職 NPO法人環境 代表
	住所	〒100-0000 北海道札幌市〇〇4-11	
	電話番号	000-000-0000	電子メールアドレス 〇〇@〇〇

防除を行う方法、使用又は設置する機材や道具等について記載

区域図、防除実施計画書はすべての方が必須です。

防除の認定の場合は、法人や団体であれば定款又は寄付行為(なければ会則等)、申請者(団体の場合は代表者)の略歴を示した書類、過去3年間の団体等の活動実績を記載した書類のほか、登記事項証明書(法人のみ)の添付が必要。

個人であれば申請者の略歴を示した書類、3年間の活動実績を記載した書類の添付が必要。

申請内容の確認や防除の確認(認定)書の送付に必要なので必ず記入

天然保護区域内で防除を行う場合等、他の法令の規定に基づく許可等が必要な場合は、手続きの進捗状況を記入

#### (記載上の注意事項)

申請書の記載に当たっては、以下の注意事項に沿って記載すること。なお、□欄がある項目については、該当するものを選択し、チェック(レ)を入れること。

#### 1. 申請の種類

申請の内容に応じて、確認又は認定のいずれかを選択すること。また、新規又は申請内容変更のいずれかを選択すること。

#### 2. 防除の内容の概要

防除実施計画書に基づき、その概要について以下の事項について記載すること。

- 1) 特定外来生物の種類：防除の対象として捕獲等をする特定外来生物の種類名について、和名及び学名(和名が存在しない場合は学名のみ)を記載すること(複数の特定外来生物について捕獲等をする場合は、全ての種類名を記載すること)。
- 2) 区域：防除を行う区域について、具体的に記載すること。
- 3) 期間：防除を行う期間について記載すること。
- 4) 目標：防除の目標について記載すること。
- 5) 防除の方法：防除を行う方法、使用又は設置する機材等について記載し、捕獲等をした特定外来生物の取扱いについて飼養等又は殺処分のいずれかを選択すること。

#### 3. 添付図面等

区域図については、適正な縮尺のものとする。なお、定款又は寄付行為及び過去3年間の活動実績を記載した書類については、防除の認定の際にのみ添付するものとする。また、個人が防除の認定の申請を行う場合は定款又は寄付行為の添付は不要とする。

#### 4. 備考

他の法令の規定により、当該防除に伴い行政庁の許可、認可その他の処分又は届出を必要とするものであるときは、その手続きの進捗状況を記入すること。

# 防除実施計画書作成の手引き

## (セイヨウオオマルハナバチの例)

### (記載に関する留意事項)

平成19年4月1日現在

①特定外来生物の種類	防除の対象となる特定外来生物種の学名、日本語名を正確に記載して下さい。
②防除を行う区域	具体的な地名・地番を記入して下さい。生物により防除する箇所が広範囲にわたる場合は、地域が特定できるよう〇〇市全域や〇〇川流域全域というように記載して下さい。
③防除を行う期間	開始時期は適宜ですが、終了時期は最長で防除の公示に定める期間の最終日（平成23年3月31日）に合わせていただきますようお願いします。 計画期間は、生息動向の変化に柔軟に対応できるよう、原則として3～5年間程度とします。計画が終期を迎えるときには計画の達成の程度に関する評価を行い、その結果を踏まえて計画の内容を検討し、必要な改訂を行って下さい。
④生息状況等	科学的な知見及び各地の実施事例に基づき適切な防除の目標が設定できるよう、あらかじめ当該地域の特定外来生物の生息状況、被害状況等について知見があれば記載します（東京大学の生息状況調査結果などから引用可）。 適切な目標を設定するために必要な調査を行うことが望まれますが、十分調査がなされない場合でも防除を行いながら並行して調査を行い、データを集めて順応的に防除を進めます（あらかじめ調査で得た結果があれば別紙として添付するのが望ましい）。
⑤防除の目標	防除の目標は、特定外来生物の生息状況や被害等の実態、地域の特性に応じて、当該地域からの完全排除や被害の低減化等、必要な事項を設定します。 なお、設定された目標については必要に応じて随時見直しを行うものとします。
⑥防除の方法	防除の目標と地域の状況を踏まえて適切な手法を検討するものとします。 防除の方法については実際の防除についてだけでなく、その前段に行う調査や捕獲にあたっての留意事項、捕獲個体の処分方法、モニタリングなど防除を行う際に決めておかなければいけない事項についても、この項目に記載して下さい。
⑦関係者との調整等の経緯	防除を行う区域内の土地及び関係施設の所有者又は管理者との必要な調整を図った場合には、その結果を記述します。 普及啓発：地域住民等に対して防除の実施に係るお知らせ、理解の増進のための措置を講じた場合には、その内容を講ずる場合にはその方法を記述します。 合意形成：防除実施計画の策定に当たり協議や検討の場を設けること等により、地域における合意形成を図った場合には、その経緯及び結果について概要を記述し、適宜参考資料を添付します。

# 〇〇市（〇〇町）におけるセイヨウオオマルハナバチ防除実施計画（作成例）

## 1 特定外来生物の種類

ボンブス・テルレストリス（セイヨウオオマルハナバチ）

## 2 防除を行う区域

北海道〇〇市（〇〇町）全域（別添「〇〇地域におけるセイヨウオオマルハナバチ捕獲対象地域」のとおり）

## 3 防除を行う期間

確認（認定）の日から平成〇年〇月〇日まで（最長で平成23年3月31日）

## 4 〇〇市（〇〇町）における生息等状況

### (1) セイヨウオオマルハナバチ

北海道では1996年に野生下で目撃されている。

〇〇市では平成〇年頃から〇地区を中心に住民により目撃されており・・・

平成〇年頃には〇個体捕獲されている・・・など、把握している範囲で記入

（東京大学保全生態学研究室の生息状況調査結果（別添資料）を参考にして記載）

## 5 防除の目標

生態系に係る被害の防止を図るため、セイヨウオオマルハナバチの生息状況、被害状況等を把握し、その状況に応じて野外からの完全排除又は影響の低減化を長期的な目標に生息域の拡大や侵入・定着を阻止する。

## 6 防除の方法

〇〇市（〇〇町）に生息しているセイヨウオオマルハナバチについて、以下に述べる方法によって効率的な防除に努める。

### (1) 調査

防除を行う地域において可能な限り詳細な生息状況及び被害状況などの情報収集を行い、その知見に基づいて効率的な防除に努める。

### (2) 捕獲の方法

地域の現状に応じた効果的な手法で捕獲等を行うこととし、原則として次の方法により捕獲する。

- ① 捕虫網等を用いて捕獲を行い、捕獲された個体は捕獲場所で殺処分する。
- ② 捕獲の時期、回数等の捕獲の詳細は、必要に応じてセイヨウオオマルハナバチに関する専門的な知見を有する研究者等の指導・助言を受けるものとする。
- ③ 捕獲地点、捕獲数等のデータを記録・蓄積し、東京大学で実施している研究活動等に協力するとともに、効率的な防除に役立てるものとする。
- ④ 巣穴等を発見した場合は、セイヨウオオマルハナバチの生息が広がらないよう適切に処分する。
- ⑤ 防除従事者は適切な捕獲と安全に関する知識及び技術を確保することとし、別記〇防除従事者台帳を作成し、〇〇において管理するとともに、原則として、毎年

○月に更新する。なお、更新は必要に応じて随時行う。

(3) 捕獲個体の処分

捕獲した個体は、薬殺、死亡することが確実な密閉できる容器に収容すること等により、捕獲場所で適切に殺処分する。処分した個体は、廃棄物として適切に処理する。

(4) 捕獲及び捕獲個体の処分の際の留意事項

- ① 蜂刺されや怪我などの事故発生防止に万全の対策を講じる。
- ② 一般市民に捕獲に関する誤解を与えないよう、セイヨウオオマルハナバチの防除実施を示す腕章及び防除を実施していることを証する書類（防除確認（認定）書または別記○確認・認定を受けた団体の発行する従事者証）、別記○防除従事者台帳を携行する。地域住民に説明を求められた場合には、防除の趣旨について説明するよう努める。
- ③ 在来昆虫の混獲を避けるよう配慮し、万が一誤ってセイヨウオオマルハナバチ以外の生物が捕獲された場合には速やかに放逐する。
- ④ 捕獲に際しては、周囲の植生等に影響を与えないよう留意する。特に国立公園、国定公園及び道立自然公園においては、植生保護のため歩道沿い等で実施することとする。
- ⑤ 従事者等による生きた個体の個人的な持ち帰り及び野外への放置のないものとする。

(5) モニタリング

生息状況及び被害状況を適切にモニタリングし、防除の進捗状況を点検するとともに、その結果を防除の実施に適切に反映するよう努める。

7 関係者との調整等

(1) 普及啓発

セイヨウオオマルハナバチの防除に係る地域住民の理解の増進を図るため、ホームページなどの広報媒体による普及啓発を積極的に行う。

(2) 合意形成及び関係者との調整（説明会の開催など）

- ① ○月○日に○○において説明会を開催し、地域における合意を得た。
- ② 土地所有者である○○市と○月○日に防除に必要な調整を行い、合意済み。
- ③ 国立公園においては管轄する自然保護官事務所に、国定公園及び道立自然公園においては管轄する支庁に、活動の時期・内容等を事前に連絡し、その指導を受けるものとする。
- ④ 天然保護区域における捕獲については、文化財保護法に基づく協議中。

(3) 当該防除における財政的及び人力的能力の確保（認定の場合のみ記載）

当該防除に要する経費は、自己資金によるほか、○○基金からの助成を得ている。防除は○○町職員等と協力して行う予定で、従事者は、当会が行う研修等において近縁種との識別方法等必要な技術を身につけた上で実施する。また、防除に関する技術等については、○○氏（○○大学）等に指導頂くこととする。

8 関係法令の遵守

以上の他、防除の実施に当たっては、関係法令を遵守するものとする。

(必要に応じて項目追加、サイズ変更)

(別記○ 防除従事者証)

特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律に基づく

## セイヨウオオマルハナバチの防除従事者証

NPO 法人○○ 理事 ○○ ○○

印

従事者の氏名	(従事者番号)
住所	
確認・認定	セイヨウオオマルハナバチ 平成 年 月 日第 号
防除の区域	○○町一円
防除の方法	捕虫網による防除
防除の期間	平成 年 月 日から 平成 年 月 日まで

